

研究課題番号	2-1705
研究課題名	アジアの森林土壌有機炭素放出の温暖化影響とフィードバック効果に関する包括的研究
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	138,535 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	梁 乃申

1. 評価者の指摘及び提言概要

今後の温暖化モデリングに組み込み可能な新しい素過程モデルと良い知見が得られている。例えば、アジアの森林土壌が欧米とは異なり温暖化による影響が異なることを示したこと、土壌有機物の放射性炭素 (^{14}C) による土壌調査への応用の可能性を見出したことなどは新たな知見と言える。また、温暖化に対する微生物呼吸変化についての報告のある欧米とは異なるアジアモンスーン気候下では、従来考えられていたより多くの二酸化炭素が森林土壌から排出されることを示唆する結果が得られたことは重要な結論である。

ただ、サブテーマ間の研究課題のつながりが見えにくく、総体としての研究成果の意義や環境政策への貢献について明示的でなく分かりにくいように思われた。

2. 評点

総合評点：A